

〈史料紹介〉

史料紹介 「関東代官竹垣直道日記」(8)

西 沢 淳 男

凡 例

一、本稿は、東京大学史料編纂所蔵「竹垣直道御代官日記」廿四、嘉

永五年（一八五二）九月～十二月迄を翻刻したものである。

一、翻刻にあたって、原則として原本の体裁を尊重するようにした。

特別な場合を除き常用漢字に改め、読みやすくするために適宜読

点「・」と並列点「・」をつけた。

一、異体字は正字または新字に改めた。変体仮名は平仮名に改めた。

合字の「カ」（より）はそのままとした。助詞として使用されて

いる、「江（え・へ）・而（て）・与（と）・二（に）・者

（は）・茂（も）及び井などは、活字を小さくして使用した。

一、虫損箇所は、□・「」で、判読不能文字は*で示し、推読で

きた場合は（ ）で傍注とした。誤記・意味不明などの場合に

は、正字を傍注とするか、（ママ）を付した。脱字は（脱）と

注記した。疑念が残る場合には、（カ）を加えた。

一、抹消された文字で判読できる場合は、文字を示し、文字に抹消

記号として——を入れ、訂正文字がある場合、わきに記した。抹消

文字が判読できない場合、□・「」に抹消記号として——を

入れ、訂正後の文字がある場合、わきに記した。

一、平出は二字あけ、闕字については一字あけとした。

一、日記中の図版は、そのまま手を加えず複写した。

（にしざわ あつお・高崎経済大学地域政策学部教授）

【前号までの訂正】

「関東代官竹垣直道日記」(3) 150頁上段14行目 御札↓御札

「関東代官竹垣直道日記」(3) 157頁上段13行目 一軒↓一件

「関東代官竹垣直道日記」(3) 137頁上段3行目 大森↓大熊

「関東代官竹垣直道日記」(3) 135頁下段4行目 堀田↓堀田

(表紙)

世四
 從嘉永五壬子年
 九月至十二月
 日記

○九月朔日 晴

一、朝五つ時出宅○下御勘定所江出ル、明二日検見出立いたし候段、

御取箇方懸江申達○田代善八郎暇伺書、小高登二郎江出ス○平出

御殿江出ル○検見出立候段、高橋鍾之助江申達、奉行衆江同断申

上ル○月並御礼申上ル○堀田大隅守□□江参之初而逢、戸右衛門身分之

義申聞、書付差越受取置、九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、留守中宮部潤八郎来、通候由

一、関保右衛門来、御役替吹聴申置

一、井戸忠七来、逢

同二日 晴昼後曇過雨風

一、為田方検見、明六つ時過出立、元々手付小林其右衛門・加判手付

宮部孫八郎・手代中山昇三郎・松野齋助召連、供新井七郎・古川

綱五郎、中間三人・足輕老人○千住宿休、齋藤手代杉浦鐘次郎相

越、逢○内匠新田○大原○八条○平沼弁当○吉川御囲蔵見分○拾

吉軒○広嶋検見、同村百姓藤之助宅江八つ半時着、春法泊安次郎

同三日 曇

一、明六つ時広嶋出立、今上方江戸川乗船○茂田井御囲蔵見分いたし、

木村を乗船○金町関所見廻、番人共初而逢、同所を乗船、下矢切

の上陸、此所迄船路凡六里進○栗山検見、春法○国分○須和田已

上高村者栗山准郷願承届ル○八幡宿休○鬼越検見相済、八幡宿百

姓半右衛門宅江夕七つ時帰、春法、泊

同四日 晴

一、明六つ時過八幡宿出立○中山村法華経寺参詣○本郷○寺内○印内

検見付荒なく出来方相劣、本郷春法、弁当○古作検見春法、前村

二劣○船橋海神○同九日市打込、検見古作二尚劣○七熊検見、前

村二少し勝ル○船橋五日市検見、七熊二類又、夕七つ半時過本陣

五郎左衛門方江着、夜二入春法、泊○船橋大宮司を使者来、及接

拶

同五日 曇

一、明六つ半時船橋五日市出立○船橋平出 御宮拜礼、金百足献備

祢宜案内いたす、神酒頂戴○平出 太神宮拜礼相済、大宮司方江相

越、宝物拜見いたす、大宮司出、初而逢○二俣塩浜願場所見分○

同村検見○原木検見破免願、本田新田共出来方劣候得共、破免願

者相当とも難申二付及利害承伏、破免者願止いたし候段申立ル、
二 俣江立戻、春法、弁当、同村者出来方相劣ル○高谷○田尻検見
同邸塩浜願場所見分○上下妙典検見并塩浜願場所見分○夕七つ時
過本行徳村名主権三郎宅江着、春法泊

同六日 半晴

一、明六つ半時行徳出立○加藤新田○儀兵衛新田○関ヶ嶋村○伊勢宿
村○押切村検見、関ヶ嶋春法○湊村○湊新田○欠真間村検見、湊
村春法弁当○新井村○当代嶋村○猫実村検見、当代嶋春法○暮
六つ時過行徳着、名主権三郎宅江立戻、泊○検見村之内、加藤新田・
欠真間并本行徳塩浜新開願所見分いたす

同七日 晴

一、明六つ半時行徳出立○武州^{下総方}当代嶋検見、春法、是る江戸川乗船、
中川番所通行、同川乗船○砂村当主高入新田検見、同村春法○龜
戸村新田検見、同村春法○上中下平井村見取検見、下平井百姓源
右衛門宅春法、右^二面検見不残相済、此源右衛門^者旧家長百姓^二而
寛永五年^{金出} 大猶院様拝領物持伝候由二付、逢、右御品拝見いた
す○御褥○御茶碗○御盃○御鷹野御黒印等なり○下平井より乗
船、中川堅川通大根河岸着船、暮六半時過帰宅、内着之積

同八日 快晴

一、齋藤の文通、及返書、望月江文通、内着之義申遣又
一、小泉久太郎江文通、御頭名前問合、治太夫様の御返書来

同九日 晴昼後曇

一、朝五つ時出宅○下御勘定所江出ル○昨八日検見済、帰府之旨差出
方懸江申達○^{平出} 御殿江出ル○重陽御礼申上ル○昨日帰府之旨高
橋鍾之助江相届ル○土佐守殿江作方之様子申上ル○九つ時過帰宅
一、祝義家例之通、相祝又

同十日 曇昼少雨

一、朝五つ半時過出宅○福田八郎右衛門、去亥御年貢凡積皆洛御届如
左出又

伊勢守殿 三富甚左衛門

但馬守殿 松井勘右衛門

右相仕廻、下御勘定所江出^{平出} 御殿江出ル○河内守殿江作方様子
申上ル○望月同道、九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○八つ
時過帰宅

一、大坂町奉行川路左衛門尉、御勘定奉行被 仰付候

一、望月江文通、酒代遣、返書来

同十一日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

- 一、林部善一郎江文通、善太左衛門病氣見廻干温飧・玉子遣、返書来
- 一、安藤正三郎江文通、親類書之義問合、留守之由
- 一、河尻家来江源大夫文通、為及返書来

同十二日 曇昼後雨

- 一、例刻出勤、九つ時過歸宅
- 一、朝江川方在宿聞合来、今日者留守之旨申遣
- 一、九つ半時過出宅○川路左衛門尉殿江御役成歎申置○久須美江病氣見廻相越、佐州并六郎左衛門家内一同逢○林部江不快見廻、父子共逢、七つ時過歸宅

同十三日 雨夕収夜月明

- 一、朝五つ半時過出宅并出 御殿江出ル○河尻式部少輔江面会、縁談一条相話入、九つ時過歸○役所出勤、例刻歸宅

同十四日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅
- 一、市村丈右衛門来、逢

同十五日 曇

- 一、神田祭祀二付、役所休日
- 一、昼後出宅、おきく同道、三つ井江參、調物いたし、夜二入歸宅

- 一、朝山崎八三郎方江源大夫差遣、川尻方縁談仲人之義頼候段申遣、承知之旨申越入
- 一、河野隱居来、止宿

同十六日 曇

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅
 - 一、朝勝安兵衛来、逢
 - 一、河尻方江源大夫差遣入
- 同十七日 曇
- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅
 - 一、杉浦正一郎来、逢
 - 一、望月今日歸府いたし候旨、文通申越
 - 一、明日諸色見分いたし、出役者望月之積

同十八日 雨

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断歸宅
- 一、浜御庭并出 御成、望月出役之処、御延引相成候由
- 一、山崎八三郎家来江源大夫為及文通、返書来、河尻家来江同断縁組願下書為取替候
- 一、夜中鈴木太太郎名代願来、望月江及書通、同人江為相頼候

同十九日 雨昼後晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、河尻家来を縁組願進達之儀^二付文通有之、為及返書候

一、八つ半時過山崎八三郎来、初而逢、河尻式部少輔を忝帶刀江おか

よ縁組之儀改而申込、承知之旨及挨拶、帶刀親類書一通持參受取、
自分親類書一通八三郎江渡遣、使者取遣候積、及示談、おきく、
おかよ初而為逢、酒飯振廻遣、暮六つ時過披

同廿日 晴

一、朝五つ半時過出宅^{平出} 御殿江出ル○おかよ義御小納戸頭取式部少

輔惣領河尻帶刀江縁組願書、高橋鍾之助江出ス、即日奉行衆を式
部少輔江懸合書差出候積、及引合○式部少輔江面会、右縁組願懸
合度之段話置○林部江逢、今日を出勤いたし候由、江川江逢、明
日出立のよし○九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、江川手代夜分来、明日名代頼来、承知之旨及答

同廿一日 晴

一、朝五つ半時過出宅、下御勘定所江出ル○江川名代駒木根大内記御
加増地、江川御代官所之内三百石余相渡候段、岡田利喜一郎申達、
差引野口藤三郎受印いたし、江川手代江相達ス、九つ時過帰○役
所出勤○当子御取箇御代官所分取極、元々江相達ス○例刻帰宅

一、駒場 御同道、御 成、刑部卿殿御出有之、出役望月

一、小泉様を御書、明日參候様申来、御返書上ル

一、齋藤を文通、今日歸府之旨申来

同廿二日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、河尻家来を源太夫江文通、結納来月十日之積打合申越、承知之旨
為及返書候

一、八つ時過を龍太郎同道、小泉様江罷出ル、二階普請出来^二付、酒
飯御振廻有之、^{前夜}燗子酒器一、火箸三上ル、相客三人有之、自分共
者先江退散、五つ時帰宅

同廿三日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、浜御庭^{平出} 御成有之、出役望月

同廿四日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、河尻家来を源大夫江文通、結納来月三日いたし度旨申越、承知
之旨為及返書候

同廿五日 雨

一、例刻出勤、同断帰宅

同廿六日 晴

- 一、朝五つ半時出宅、山崎八三郎方江参、今般縁組中人相頼候挨拶申述、鯉節一箱相贈ル、留守二付家来江申置、九つ時過帰○役所出勤○当子御取箇当分御預所分取極、其右衛門江相達ス○八つ半時帰宅
- 一、岡田利喜二郎方文通、明廿七日越中島新田地先御勘定方見分之儀申来ル

一、浅井宗寿来、逢

同廿七日 晴風

- 一、例刻出勤、同断帰宅
- 一、河尻江結納之義為打合、源太夫遣ス
- 一、豊田藤之進方文通、及返書

同廿八日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、青山武左衛門来、結納之義源太夫方為及談候
- 一、杉浦正一郎来、逢、夜帰
- 一、浅井宗寿、来、逢
- 一、齋藤妻方使、おかよ方江懸視一祝ひ差越ス
- 一、望月方文通、赤飯到来、及返書

同廿九日 晴

- 一、朝五つ時前出宅、望月同道、川路左衛門尉殿江相越、不時御礼三付登^{平出}城、留守三候間、用人江逢、申置、四つ時過帰宅
- 一、例刻出勤○御代官所・当分御預所御取箇仮免状相渡ス○同断帰宅
- 一、関保右衛門江文通、来月新潟表江出立三付、餞別遣ス○綿子一○縮緬膝蒲団一○嶋縮緬二反○振出菓子二、右受取来ル
- 一、勝安兵衛来、逢

同晦日 快晴

- 一、例刻出勤○下総国船橋三ヶ村仮免状相渡○同断帰宅
 - 一、八つ時過出宅、亀沢丁屋敷江相越○関江参、逢、夜四つ時過帰宅
- 十月朔日 快晴
- 一、朝五つ時出宅○下御勘定所江出ル○当子御取箇帳岡田利喜次郎江出ス○^{平出}御殿江出ル○月並御礼申上ル○松永善之助手付次男惣領願書、鍾之助江出ス○九つ時帰○役所出勤、八つ時過帰宅
 - 一、望月方文通、おかよ方江腰帯一・麻尾^帯到来、及返書
- 同二日 半晴
- 一、例刻出勤○下総国上山新田質地出入及吟味○同断帰宅
 - 一、夜松村文蔵来、逢

同三日 晴朝小過雨

一、役所頼合、齋藤・望月江及書通

一、昼後河尻式部少輔方江使者、木々田源太夫差遣、おかよ持参金三

拾兩、干鯛一折相贈ル、式部少輔逢、挨拶申来ル

一、同刻式部少輔使者青山武左衛門来、結納到来左如○帶二筋代金千

疋○昆布一折○寿留女一折○松魚節一連○家内喜多留一荷○武
左衛門江逢、及直答

同四日 曇

一、例刻出勤、同断帰宅

一、山崎八三郎方江源太夫差遣、昨日結納済之義申遣ス

男 淳 沢 西

同五日 曇夜雨

一、例刻出勤、同断帰宅

一、久須美江夕刻参、佐渡守義久々病氣之処、昨夜五つ半時比病死い

たし候由、悔申述ル、夜六つ半時過帰宅

同六日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、勝安兵衛来、逢

一、中村伝之助来、逢

一、浅井宗寿来、逢

一、豊田家来吉住讓次郎申来、証文預り置

同七日 晴

一、朝五つ時出宅、川路左衛門尉江相越、登^{平出} 城前逢有之○^{平出}

御殿江出ル、齋藤同道、九つ時帰○役所出勤、例刻帰宅

一、夕刻豊田家来吉住讓次郎来、金式拾両用立候分爲相渡、松村文蔵
呼寄爲引合、金子取引爲致候

一、青山武左衛門江爲及文通、返書来ル

一、林部善太左衛門来、申置

同八日 晴

一、朝五つ半時出宅^{平出} 御殿江出ル○河尻式部少輔二面会いたす、九つ
時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、佐々木信濃守大坂町奉行川路左衛門尉跡、信濃守跡日光奉行戸田

能登守、同人跡堀内膳被 仰付候由

一、朝吉川友次郎来、逢

同九日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅○帰懸望月江立寄、逢

一、久須美六郎左衛門江文通、佐渡守内々初七待夜二付、靈前江茶一

箱相備ル、返書来ル

一、井戸忠七来、逢

同十日 晴

一、玄緒二付、役所休日

同十一日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、源太夫方武左衛門江為及文通候

一、関江文通、重話もの遣入、差置

一、夕刻同人方江参、夜五つ時帰宅

同十二日 雨昼後晴

一、例刻出勤、同断帰宅○夕再出勤、柳島村無宿勇吉吟味之上入牢申付ル

同十三日 晴風

一、例刻出勤、昼後帰宅

一、昼後龍太郎同道、日本橋辺相越、夕刻帰宅

同十四日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同十五日 晴

一、朝五つ時出宅○下御勘定所江出ル○(平出) 御殿江出、月並御礼申上

ル○河尻三逢、引移日限話有之○九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

一、源太夫方武左衛門江文通申付ル

一、関保右衛門今朝新湊表江出立致入、右為見立、朝源太夫差遣入

一、夜吉田定之丞方文通、及返書

同十六日 晴

一、例刻出勤○柳島無宿勇吉口書申付ル○九時過帰宅

一、八つ時出宅、大門通方日本橋辺江参、夕刻帰宅

一、市村丈右衛門来、平格方おかよ方江懸硯一・小蓋一祝ひ来ル

一、松永善之助来、真綿相贈ル、留守不逢

同十七日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、八つ時出宅、浅草辺方池ノ端辺江参、龍太郎同道、暮合帰宅

同十八日 曇

一、役所頼合、齋藤江及書通

一、朝五つ半時過出宅(平出) 御殿江出ル○おかよ義、河尻帯刀江縁組願

之儀、願之通縁組可致旨和泉守殿被仰渡候段、河内守殿被申渡差引一兵衛、森八左衛門悴縁組一同相濟、名代相勤ル、九つ半時

過退出○小普請方^二着替いたし、直^三御礼廻勤いたす

同廿一日 晴

松平和泉守殿 被仰渡御老中

一、例刻出勤、同断帰宅

久世天和守殿 月番同断 川路左衛門尉殿

一、浜御庭^(五) 御成有之、出役望月

右相仕廻、夕七つ時前帰宅

一、昼後亀沢町屋敷^江相越、おきく同伴、暮六つ時過帰宅

一、市村丈右衛門来、逢

一、右大将様王子筋 御成、出役望月

同廿二日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅○出懸望月^江立寄、逢

同十九日 朝小雨昼方晴

一、役所頼合

同廿三日 晴

一、四つ半時過出宅、御礼廻勤

一、役所頼合、斎藤・望月^江及文通

本多加賀守殿 松平河内守殿 石河土佐守殿

一、昼後河尻式部少輔方^江初而相越、家内不残逢、夕刻帰宅

高橋鍾之助 後藤一兵衛

一、昼前源太夫方^武左衛門^江奉札^二而河尻^江初而相越候^三付、交着遣又

右相仕廻、八つ時過帰宅

一、河尻^江源太夫奉札^二而縁組願済、飲為申遣候、受取来ル

同廿四日 晴

一、同家方も奉札、飲申来ル、受取遣又

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、坪内舍人方^文通、看到来、及返書

同廿日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

同廿五日 晴

一、山崎八三郎^江縁組願済、為知遣又、返書来ル

一、例刻出勤、同断帰宅

一、松平釣之助・小泉次太郎様^(六)・岸本金八郎^江右吹聴、奉札遣又

一、河尻^江明日参候義、断申遣、返書来ル

同廿六日 晴

一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所^江出ル○^(平)御殿^江出ル○土佐守

殿・河内守殿江斎藤・勝田一同布衣被 仰付度旨、望月一同申立ル、
逐而願書差出積申上置○九つ時帰○役所出勤○評席申渡有之○例
刻帰宅

- 一、佐々木道太郎方之二書、下御勘定所^三而出役方受取
- 一、右二付、坪内舍人江文通、留守受取来ル

同廿七日 晴

- 一、朝五つ時過出宅、本多加賀守殿江為惣寄合罷出ル、例之通御定目
読聞有之、四つ半時過帰宅

- 一、宮部潤八郎方おかよ方江紅絹沓反祝来ル、自書挨拶申遣又
- 一、佐々木信濃守方文通、^{奈良}木坂土産晒沓疋、根付一到来

- 一、坪内舍人方昨日之返書来ル
- 一、昼後龍太郎同道、浅草辺江参、夕帰宅

同廿八日 晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅
- 一、佐々木信濃守江昨日之返書遣又

- 一、八つ時過龍太郎同道、浅草辺江相越、暮合帰宅
- 一、丹羽莊四郎方奉札、楊善一周忌取越、強飯到来

同廿九日 半晴

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○九つ半時帰宅

一、八つ時出宅、浅草御蔵江出役、二合半領御廻来花田仁兵衛手、東
葛西領同断日下部七之助手^三而納有之、見廻いたす、七つ時過帰
宅

- 一、明朝日日蝕^二付、月並御礼五つ時揃之旨御書付写、河内守殿廻状
到来

○十一月朔日 日蝕四時七分、九分半余 晴

- 一、明六つ半時登^{平出}城、月並御礼申上ル○斎藤・勝田布衣願書
望月一同土佐守殿江上ル○下御勘定所江立寄、四つ半時過帰○役
所出勤、頼合、九つ時帰宅

同二日 晴

- 一、朝五つ半時過出宅○下御勘定所江出ル○右賀作助手付当分出役願
書、河嶋才右衛門江出又○吉田半左衛門江廻船方一条引合、大坂
二分伺書借来ル○^{平出}御殿江出ル○河内守殿江昨日之願書差出之
義申上ル、金三郎・藤助江同断之義申談又○九つ時過帰○役所出
勤、例刻帰宅

- 一、其右衛門妻并ひて来、おかよ方江祝義之旨品贈ル
- 一、中村英太郎来、逢、菓子到来、移遣又

- 一、二丸新部屋申合有之、望月出ル

同三日 晴風

一、例刻出勤○諸色見分いたす○九つ時過帰宅

一、ひて来、逢

一、明日西丸亀有筋 (平出) 御成二付、八つ半時過出立、引船通を相越、

立石村江暮合着、同村名主新右衛門宅江泊○夜四つ時過焚出所為
見廻相越、四つ半時前帰宿

同四日 快晴

一、朝五つ時過立石出立、亀有村江相越、例之通下宿る恵明寺小普請

方詰所江参居、昼九つ時御膳所江 (平出) 御入込、九つ半時還 (平出) 御、

小普請方鈴木分左衛門・御豊奉行金田藤七郎一同両度 (平出) 御目

見いたす・御規定

○御供揃 六時過 ○若年寄 右京亮殿

○御目付 松下大学 根岸九郎兵衛

右相濟、小普請方同船、夕七つ半時帰宅

同五日 雨

一、例刻出勤○諸色・残物其外見分○同断帰宅

一、久須美六郎左衛門を奉札、佐渡守義、病氣養生不相叶、今日午中

刻病死之旨、為知来ル

一、豊田藤之進奉札、忌中相成候段、為知来ル

同六日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、佐々木信濃守の内祝餅到来

一、おきく・おかよ・おみち昼後る牛御前江参詣、夕帰ル

一、自分・おみち今日有卦二入候二付、おるちる使、たつ相下、逢、品々
祝ひ呉ル

同七日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、河内守殿御用談有之候間、明日 (平出) 御殿江罷出候様高橋鍾之助

林部江申聞候由、同人を出發江申聞ル

一、後藤一兵衛を切紙、篠本彦次郎忌服届之義申来ル、同人江文通

相達ス

同八日 晴

一、朝五つ半時過出宅 (平出) 御殿江出ル○河内守殿を江川江画頼之儀御

話有之○金三郎を内調之義談有之○一兵衛を忌服届之儀談有之

○九つ時過帰○役所出勤、例刻帰宅

一、おかよ・おみち昼後 (平出) 御殿おるち方江参ル、止宿

一、河内守殿家来の家来江文通、絵絹画紙人衣箱差越、及直答

一、久須美佐渡守葬式二付、為見立使者七郎遣入、四時出棺之よし、

夕帰ル

一、同家内実三十五日待夜二付、霊前二葛一箱相備、六郎左衛門二文

通^三遣又

- 一、根来五左衛門屋敷改被 仰付、吹聴申置

所出勤、例刻帰宅

- 一、夜松村文蔵来、逢

同九日 晴

同十二日 晴

- 一、例刻出勤○上稻油直段極、受負人共江申渡○同断帰宅

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

- 一、河内守殿御頼絵絹画紙入箱封、江川太郎左衛門江書状相添、同人

- 一、河尻江源太夫遣、家内一同留守之よし

役所江為差遣候

- 一、豊田江同人遣、朦中見廻、菓子一折遣又

- 一、おかよ・おみち ^(平出) 御殿夕刻下ル○おるちるおかよ縁付祝義

同十三日 晴

として左之通贈ル○時絵小篋筒内、銀七つ道具、簪二本、鏡付、

- 一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

服紗二、煙管筒、煙草入、扇時絵箱一、人形一其外品々入○紫縮

- 一、朝河尻江源太夫遣

緬腰模様御紋裾一

- 一、朝河尻江源太夫遣

同十日 晴

同十四日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅

- 一、朝五つ半時出宅 ^(平出) 御殿江出ル○河尻式部江面会、引移日限申談

- 一、小林其右衛門不快二付、為見廻広之助遣、菓子贈ル、今日者快方のよし

- 都筑金三郎江調書相渡、及談○九つ時過帰○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

同十一日 晴

同十五日 晴

- 一、朝五つ半時過出宅○去亥御年貢皆済御届ニ出ル、伊勢守殿渡辺三

- 一、例刻出勤、同断帰宅

太夫、但馬守殿山本匠作江出ス○下御勘定所江出ル ^(平出) 御殿江

- 一、おかよ・おみち浅草边江參、暮合帰ル

出ル○河内守殿江川江之御頼物達方申上ル○御用屋敷御代官調

書金三郎江遣又○忌服届振合調書一兵衛江出ス○九つ時過帰○役

同十六日 晴

一、風邪二付役所頼合、齋藤・望月江文通

例之通手当向申渡有之、土佐守殿・小高登一郎之由

一、源太夫左青山武左衛門江為及文通、引移日限打合、来ル廿二日治定相成ル

一、自分居間并表之方煤払いたす

同廿日 晴

同十七日 半晴

一、風邪頼合

一、風邪二付頼合

一、齋藤左文通、小笠原重平身分書上廻来、及返書

一、小笠原太左衛門方出役便、手紙差越ス

一、居間其外覺替いたす

一、花月堂安之助来、逢

一、杉浦正一郎左龍太郎方江文通、自分及返書

一、武左衛門江源太夫左為及書通ル

同十八日 晴

一、風邪頼合

一、山崎八三郎方江来ル廿二日引移之義為申遣候

一、石質作助、明日召連可罷出旨御取箇方左達二付、望月江名代頼、承知之旨申聞ル

同廿一日 曇過雨

一、吉辰二付、おおよ道具類河尻方江相送ル

一、風邪快、例刻出勤頼合、九つ時過帰宅

○長持^{後七}棹^前○篋^前箭式棹○忍乗物壹挺

同廿二日 快晴

○釣台六荷

右使者木々田源太夫差添、八つ時過夕刻迄兩度二相送ル

一、頼合出勤不致

一、市村丈右衛門来、逢

一、昼九つ時過為智人、河尻帶刀来、自分・おきく・龍太郎逢、引出物廉乗作雲籠目×小柄二所物、高砂奈良人形遣入、丕事いたし、相祝入、九つ半時過開く

同十九日 晴

一、風邪頼合

一、おおよ義、河尻式部少輔方江引移ル、夕七つ半時過出門、対箱

一、御勘定所江自分名代望月罷出候処、石質作助手付当分出役被仰付

徒士式人、打物、乗物^特備式人、草履取、合羽籠壹荷、用人木々田

源太夫、四つ供^三供いたす、夜^二入供方披く

- 一、右^二付、罷越居候もの○高木茂久左衛門・宮部孫八郎・中山昇三郎・中田^新庄之助・市村丈右衛門・松村文蔵・家主清三郎・上総屋・米蔵等相越

- 一、規式向無滞相濟候由^三源太夫義、夜四つ時過披く、たか^者夜九つ時過披き一宿

同廿三日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅

- 一、朝小笠原重平来、逢

同廿四日 晴

- 一、頼合在宿、齋藤・望月^江及書通

- 一、おかよ引移三つ目^二付、為祝義、八つ時過使者源太夫皆子餅^并干

鯛一折、河尻方^江相贈、父子・おかよ逢、直答申来ル、奥^方初^而

之文遣、干鯛一箱相贈、返書遣候よし

- 一、右同断^二付、河尻^方も使者、武左衛門来、皆子餅・干鯛一折到来

逢、直答^二いたす、奥^方文到来、返書遣候よし

- 一、杉浦正一郎来、逢

同廿五日 晴

- 一、例刻出勤、同断帰宅

一、山崎八三郎^江源太夫使者、婚姻相濟候挨拶申遣、鯉節一連相送

留守之よし○小笠原太左衛門^江同断、同品相送同断

同廿六日 晴

- 一、朝五つ時過登^{平出}、城○御退出後、去々戌年地方物勘定下突合有之、奉行衆、吟味役出席、御目付戸川中務少輔立云、例之通相濟、七つ時過帰○役所出勤直^二退散

- 一、煤払いたす

- 一、石賀新五郎^方作助身分礼申越、鴨一番・花色絹到来

- 一、うた、河尻^方一旦開く

- 一、高梨仙太夫^方書状、越の雪到来

- 一、夕刻佐々木信濃守^江暇之相越、餞別海苔十帖箱^々・猪口七箱入贈ル、留守申置、帰宅

留守申置、帰宅

同廿七日 晴

- 一、朝五つ時過寒気見廻々勤○御老若方不残^并川路左衛門尉殿・本多

加賀守殿○右相廻、九つ時前帰宅○役所出勤○長戸呂村質地出入

及吟味○例刻帰宅

- 一、昼後うた河尻^江参ル

- 一、寒気見廻○高木清左衛門外来人有之

- 一、坂本鉉之助^方江之吉封、明後廿九日佐々木信濃守大坂出立^三付

届方頼為持遣ス

一、高木茂久左衛門淀之金子持參、受取

同廿八日 曇雨夕晴

一、曉八つ時比^(平出) 御城内出火沙汰二付、七つ時過^を齋藤・望月申

合、登^(平出) 城、中之間江出ル、奉行衆河内守殿・加賀守殿其外、

吟味役其外登^(平出) 城有之、富士見御宝蔵焼失いたし候由、直二鎮

火致ス、明六つ時過歸宅

一、例刻出勤○須崎村権左衛門外老人伊勢守殿江駕訴いたし候二付、

村役人引渡遣○同断歸宅

一、今朝孫八郎出、逢、小林其右衛門義久々病氣之処、昨暮酉刻重躰

相成候よし、内々申聞二付、夕刻耕之助差遣ス

男 淳 沢 西

同廿九日 晴

一、朝五つ時過出宅、寒氣見廻

岡田利喜次郎 田口加賀守 久須美六郎左衛門通

石河土佐守殿 松平河内守殿 立田岩太郎

羽田龍助 都筑金三郎

右相仕廻、四つ半時過歸○役所出勤、例刻歸宅

一、江川太郎左衛門を返書封到来

同晦日 半晴

一、朝五つ半時過登^(平出) 城○去々戌年地方惣勘定御老中方御聞二付、

御勘定所江出ル、御廻過^る伊勢守殿・但馬守殿御出座、例之通御

勘定帳読之、奉行衆・吟味役、御目付戸川中務少輔・井戸鉄太郎

出席、帳面方組頭和田勝兵衛・菊沢左兵衛出ル、相濟八つ半時過

歸宅

一、河尻帯刀を文通、鴨一籠・柿到来、返書、移二半切遣ス

十二月朔日 晴

一、朝五つ時過登^(平出) 城○月並御礼申上ル○鈴木尚太郎養子願書

高橋鍾之助江出ス○河尻父子面会いたす○下御勘定所江立寄、高

橋平作江逢○九つ時歸○役所出勤○評席申渡有之○例刻歸宅

一、丹羽五左衛門来、逢

一、岸本金八郎・宮部潤八郎来、通候由

同二日 晴

一、役所出勤、風邪二付、直二歸宅

一、朝宗寿来、逢、診察為致服薬

一、三河島筋^(平出) 御同道 御成有之、出役齋藤・望月

一、関捨四郎来、逢

一、うた昨日^(平出) 御殿江上り、尚又昼後歸、夕刻河尻江参ル

一、後藤一兵衛江文通、鴨一番遣ス

一、山崎八三郎を奉札^(平出) おかよ引移歎申越、鯛一折到来

一、其右衛門初七待夜二付、昇三郎を以内々香奠遣ス

一、杉浦正一郎来、逢

同三日 晴

一、風邪三付役所頼合、齋藤・望月江及書通

一、小泉様御出、御目三懸ル

一、酒井右京亮殿江寒氣見廻文通、茶一折相贈、返書来

一、同家方挨拶申来、鴨一籠到来、及返書

一、宗寿来、逢

同四日 雪夜雨

一、風邪三付、在宿

一、河尻帶刀江文通、寒氣見廻、重話三重、上島鯛切身其外、中口取物

下菓子・長芋饅頭・きんとん詰合遣入、返書・移品到来

一、石賀新五郎、今日方出勤いたし候由、出逢

一、小泉様方御文通、交着被下、返書上ル

同五日 晴

一、風邪快、例刻出勤○下総国藤原新田、相手本行徳村徳願寺地所出

吟味○同断帰宅

一、宗寿来、逢

同六日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、安之助来、逢

同七日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、近藤平格来、留守不逢

同八日 晴

一、例刻出勤、同断帰宅

一、朝金井伊太夫来、逢

一、根来五左衛門来、申置

同九日 晴

一、朝五つ半時過出宅○設楽八三郎去々戌御年貢皆済、福田八郎右衛

門去亥御年貢皆済御届書如左出又

○伊勢守殿 渡辺三太平

○但馬守殿 山本匠作

右相済、下御勘定所江出ル○岡田利喜次郎江二合半領触次内糺書

并樋損場見守番之儀三付、先般相渡候書類相返し、右番人願書老

通差出、及引合○吉田半左衛門江買積船一条引合○四つ半時過歸

○役所出勤○評席申渡有之○二丸新部屋有之○望月出ル○明十

日自分并齋藤・望月御用 平出 召申渡有之、望月御受書差出来ル由

申聞ル○例刻帰宅

同十日 晴

一、朝五つ時過登^(平出) 城○九つ時過御廻之節、御席始江自分・齋藤・望月一同出ル、於御右筆部屋椽類御鷹野其外御用骨折相勤候二付、拝領物被 仰付候段、松平和泉守殿被仰仰渡^(平出)、銀拾枚^卅領、齋藤同断、望月^者五枚拝領、差添御目付青木新五兵衛、差引同大久保彦左衛門・松井助左衛門、御褒美其外諸御役替御褒美一同^二成ル、西丸謁大広間江出ル、御目付遠山金四郎○御勝手方惣勘定御聞二付、直^二退出、八つ時過^二成○御礼廻丸ノ内御老・若不残、川路左衛門尉殿相仕廻、七つ時過歸○御鷹野役所出勤、直^二帰宅

同十一日 晴

一、木下川筋^(平出) 右大将様 御成二付、出役明六つ時過出宅、朝五つ時過下木下川村下宿江着、御膳所浄光寺小普請方詰所江相越、黒川嘉兵衛・金田藤七郎一同罷在、九つ時過浄光寺^(平出) 御入込、九つ半時過還^(平出) 御、例之通向度^(平出) 御目見いたす○今朝御供揃六つ半時○若年寄右京亮殿○右相濟、場所引弘○亀沢町屋敷江立寄、用向相弁、夕七つ半時過帰宅

一、今朝浜^(平出) 御成有之、出役齋藤

同十二日 昨夜の雪昼後風

一、役所頼合

一、昼後出宅、御褒美廻勤

本多加賀守殿 松平河内守殿 石河土佐守殿

高橋鍾之助 後藤一兵衛

右仕廻、夕七つ時過帰宅

同十三日 晴

一、役所煤払二付、休日

一、河尻家来の奉札、明日おかよ里披、式部少輔・帯刀も参候積申来ル、為及返書候

一、山崎八三郎江侍使^二、明日参候様申遣、承知之旨申来ル

一、近藤平格江同様申遣、同断

一、うた、河尻の帰、近日又罷越候積

同十四日 晴

一、役所頼合、在宿

一、おかよ里披二付、朝五つ時過來ル、自分江袴地一具、其外土産如左○御母様江羽^二重裕繻伴○おきく江嶋縮緬一反○龍太郎江帯地

一○おみち江縮緬しごき○おるち江真綿○外^二其右衛門・新五郎江真綿持参いたす、家来下々迄祝義相贈ル○昼後近藤平格来ル

○八つ半時過式部少輔・帯刀逐々来、山崎八三郎も引統来ル、夕刻の酒飯差出、夜五つ半時過式部少輔帰り、四つ半時過帯刀おか

よ婦、帯刀・八三郎・平格逐々帰ル○右三付、朝を参り、手伝いたし候もの市村丈右衛門、中山昇三郎、ふき、ゆき、たか、はつ妹たか、宗甫、ひて、つる等也、夜九つ時過帰、又者泊り候ものも有之、都而無滞相濟

一、戸田嘉十郎寒気見廻申置

同十五日 半晴

一、例刻役所出勤、同断帰宅

一、線姫君様、今日水戸御守殿江御引移、御婚礼被為在候

同十六日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、河尻帯刀の文通、交着到来、及返書、移り二砂糖一折遣又

一、うた同人方江遣、昼後を参ル

同十七日 曇夕晴

一、例刻出勤○評席吟味もの有之○同断帰宅

一、勝権一郎来、逢

同十八日 曇

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、浅井宗寿来、逢

同十九日 晴

一、朝五つ半時過出宅○当子御年貢金米凡積皆済御届書、伊勢守殿用人渡辺三太平、但馬守殿用人松井勘右衛門を以差出○下御勘定所

江出ル○高橋平作を北国買積船御手当被下方伺書下受取、及示談○平出 御殿江出ル○下総国藤原新田少女御賞美願書高橋鍾之助江

出又○四つ半時過帰○役所出勤同断帰宅

一、設楽元々篠崎直一来、定例年番引受、贈物蠟燭芯箱、元々江金式百疋、家来江金式百疋持参、及挨拶遣又

同廿日 晴

一、朝四つ時出宅、寒気見廻○松本十郎兵衛申置○関捨四郎逢○杉浦

正一郎逢○九つ半時帰○役所出勤○評席申渡有之○例刻帰宅

同廿一日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、右大将様、西丸江平出 御引移被遊候

一、勝権一郎来、逢

同廿二日 晴

一、例刻出勤○評席申渡有之○同断帰宅

一、勝権一郎来、逢、金子渡遣又

一、惣出仕有之

同廿三日 晴

一、朝四つ時出宅○豊田藤之進方江参、逢、九つ時過帰○役所出勤○

評席申渡有之○例刻帰宅

一、留守中、勝安兵衛参候よし

一、うた、河尻参、夕帰

同廿四日 曇

一、例刻出勤、同断帰宅

一、杉浦正一郎文通、菓子到来、及返書、移遣ス

一、勝安兵衛江文通

一、北村藤次郎来、逢

男 淳 沢 西

同廿五日 昨夜方積雪 節分

一、昼前役所出勤、見廻帰宅

一、夜四つ時過、勝田次郎手代相越、明日篠本彦次郎名代として^{正出}

御殿江可罷出旨林部・藤方方廻状到来候処、風邪^二而難罷出、名

代頼候旨申来^二付、承知之旨申遣ス

同廿六日 晴

一、朝齋藤江出刻限等打合、四つ半時過早昼後^二而^一出宅、御殿江出、八つ

時過同役一同退出、寺西留守宅江立寄、麻上下^二着替いたす

○七つ半時比石河土佐守殿江相越、高橋鍾之助・木村敬藏・屋代増之助出居、逢、暮六つ時過土佐守殿帰宅有之

嶋田名代齋藤 小林同鈴木 森同高木

大草同望月 小笠原同戸田 篠本同自分

右出雲屋弥太夫滞金之儀^二付、伊勢守殿御沙汰之趣、於内座土佐

守殿申渡有之、差引鍾之助出ル、右相濟、勝田手代江写為致、次

郎江逢申合、一同暮六つ半時比退散、五つ時比帰宅

一、篠本元^ノ共呼出参候処、不罷出^二付、新五郎江申付、夜中篠本江

渡辺慎二郎差遣、被仰渡候様申達、明日に相伺可差出旨申遣ス

一、亀沢町屋敷火之廻^二付、定例之通家来遣ス

同廿七日 晴

一、在宿

一、篠本元^ノ共相越、昨日不罷出義不都合之申立いたし候儀^二付、孫

八郎を以、及沙汰遣ス

一、夜分篠本元^ノ佐藤条助来、尚太郎を以為及引合儀

同廿八日 晴

一、朝五つ時登^{正出} 城、歳暮御礼申上ル○宮田官太郎方触次之儀^并二

合半領杖樋之儀^二付、談有之○九つ時過帰宅○役所出勤○御負付

役所并^二六分役所相廻、例刻帰宅

一、豊田藤之進来、逢、おかよ歎紗綾一反・匂袋巻ツ相贈ル
一、篠本信之助来、逢

同廿九日 晴

一、在宿

一、篠本彦次郎元_ノ佐藤条助外_ノ人来、去廿六日自分御役宅江元_ノ不
参、相成候始末口上書差出、相詫候二付、承置候段、尚太郎を以
為申達候

一、同人_ノ名代為挨拶鯉節巻箱、供方江金百疋相贈、挨拶申遣ス

一、茂久左衛門江文通、耕之助遣、金子受取来

一、小笠原重平来、柿持参、移遣ス

一、杉浦正一郎_ノ文通、及返書

一、たか来、逢